

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 赤沼 和也 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	18,581	△9.0	2,633	△32.2	2,707	△32.4	2,101	△40.3
2018年9月期第3四半期	20,430	6.9	3,881	8.5	4,006	△6.5	3,521	26.4

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 1,751百万円 (△8.1%) 2018年9月期第3四半期 1,906百万円 (△57.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	140.14	-
2018年9月期第3四半期	234.49	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	46,711	27,990	59.9
2018年9月期	46,499	27,237	58.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 27,975百万円 2018年9月期 27,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	60.00	60.00
2019年9月期	-	0.00	-	-	-
2019年9月期(予想)	-	-	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	0.6	4,100	△19.9	4,300	△18.6	3,000	△31.0	200.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	15,348,720株	2018年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	356,951株	2018年9月期	331,923株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	14,996,917株	2018年9月期3Q	15,016,891株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年10月1日～2019年6月30日、以下、当第3四半期又は当期間）の世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、中国や欧州経済の景気減速懸念を受け、不透明感が高まっております。一方、我が国経済は、前半は堅調な企業収益に支えられたものの、後半は海外の減速傾向を受け、輸出関連産業を中心に足踏み感が強まっております。また、G20関係閣僚会議で取り上げられた廃プラスチック問題に関する議論が活発化し、リサイクルを中心とした循環型社会への関心が高まっております。このように、当社を取り巻く経営環境は、依然として予断を許さない状況が続いております。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する。高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社が従前より得意とする高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を更に高める「ゼロ・クーリングシステム」と命名した新技術の開発実用化を進め、製品競争力を強化しました。これは、ワンステップ成形機の中でも当社の4ステーション方式でしか成し得ない、容器の生産性・物性強度・外観品質・軽量化を同時にかつ飛躍的に向上させる画期的な新技術であります。とりわけ、軽量化についてはプラスチック材料の使用量削減を実現できるため、廃プラスチック問題への対策としても有効な技術であります。

販売面では、全世界の既存・新規マーケットへの「ゼロ・クーリングシステム」周知活動に注力するとともに、国内新工場（千曲川工場）で開催した社内展示会、及び世界各地の主要展示会に同システム搭載機を積極出展し、市場浸透を図りました。

生産面では、インド第3工場の立ち上げを完了し、成形機の部品加工及び機械組立における安定稼働を達成しました。また旺盛な金型需要に対応するため、インド工場への金型生産設備の追加投資を決定しました。一方、千曲川工場は、新技術及び新型機の研究開発拠点として、またグループ全体の物流拠点として有効活用を開始しました。

廃プラスチック問題に関しましては、当社グループにとって大きなビジネスチャンスと捉えており、対策の中心となる「Reduce＝材料使用量の削減」「Reuse＝使い捨てない容器の成形提案」「Recycle＝あらゆるリサイクル材料の成形」、「 $+ \alpha$ ＝生分解性プラスチックへの取組み」という3R+ α の各テーマ全てに、従前より技術的対応を進めております。具体的には、「ゼロ・クーリングシステム」によるプラスチック材料の使用量削減、容器の再利用に必要とされる高耐熱性技術、多種リサイクル材料の使用を可能とする成形技術、素材・樹脂メーカーなどからの要請に基づく生分解性プラスチック利用の共同研究などであります。また、循環型社会の実現に向けて業界活動にも積極的に参加し、プラスチック工業連盟の「海洋プラスチック問題の解決に向けた宣言活動」の趣旨に賛同・署名するなど、環境配慮型技術の研究開発に積極的に取り組んでおります。

販売成績につきましては、当期間の受注高が19,865百万円（前年同期比90.3%）と、好調であった前年同期を下回りました。これは、「ゼロ・クーリングシステム」の投入により、顧客からの引き合いは活発な状況が続いているものの、新技術であるがゆえに一部案件での仕様確定に時間を要しているためであります。また不透明な外部環境を受け、顧客需要が一部市場で弱含んでいることも影響しております。同様の理由により、当期間の売上高は、18,581百万円（同91.0%）と前年同期をやや下回りました。なお、当期間末現在の受注残高は、11,364百万円（前年同期末比107.0%）と高い水準を維持しております。

利益面につきましては、売上規模の減少と大型機生産拠点である国内工場の操業度が低下した結果、売上総利益は8,177百万円（前年同期比84.1%）、営業利益は2,633百万円（同67.8%）とそれぞれ減益となりました。また最終損益である親会社株主に帰属する四半期純利益も2,101百万円（同59.7%）と減益となりましたが、これは前年同期に計上した多額の投資有価証券売却益の反動によるもので、この一過性要因を控除した場合は前年同期比90.1%となります。なお、本業での調達・生産・出荷・販売プロセスにおける従来の高収益構造に変化はありません。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	18,581	8,177	2,633	2,707	2,101
前第3四半期	20,430	9,724	3,881	4,006	3,521
前年同期比	91.0%	84.1%	67.8%	67.6%	59.7%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	9,548	5,558	1,244	2,230	18,581
前第3四半期	10,906	5,843	1,278	2,401	20,430
前年同期比	87.6%	95.1%	97.3%	92.9%	91.0%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が9,548百万円（前年同期比87.6%）、金型が5,558百万円（同95.1%）、付属機器が1,244百万円（同97.3%）、部品その他が2,230百万円（同92.9%）とそれぞれ減収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第3四半期	4,617	3,723	6,585	1,478	2,177	18,581
前第3四半期	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
前年同期比	78.3%	77.1%	96.6%	130.4%	124.4%	91.0%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第3四半期	1,330	1,149	1,039	363	641	4,525
前第3四半期	1,563	1,832	1,399	312	554	5,661
前年同期比	85.1%	62.7%	74.3%	116.5%	115.8%	79.9%

① 米州

北米市場は堅調に推移しているものの、中南米市場で前期大幅増収の反動減により、地域全体の売上高は4,617百万円（前年同期比78.3%）と減収となりました。セグメント利益も減収の影響などにより、1,330百万円（同85.1%）と減益となりました。

② 欧州

英国の欧州連合（EU）離脱問題、及び欧州経済の先行き不透明感を受けて、設備投資需要が冷え込んでいるため、地域全体の売上高は3,723百万円（前年同期比77.1%）と減収となりました。セグメント利益も1,149百万円（同62.7%）と減益となりました。

③ 南・西アジア

ドバイ販売法人は増収になったものの、シンガポール販売法人の減収により、地域全体の売上高は6,585百万円（前年同期比96.6%）と減収となりました。セグメント利益もインド工場の固定費増加により、1,039百万円（同74.3%）と減益となりました。

④ 東アジア

主要市場の中国などで増収となり、地域全体の売上高は1,478百万円（前年同期比130.4%）と増収となりました。セグメント利益も、増収により363百万円（同116.5%）と増益となりました。

⑤ 日本

売上高は2,177百万円（前年同期比124.4%）と増収となりました。セグメント利益も、641百万円（同115.8%）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	31,832	14,879	9,138	9,582	27,990
前連結会計年度	31,180	15,318	11,500	7,761	27,237

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ652百万円増加し、31,832百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ439百万円減少し、14,879百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ212百万円増加し、46,711百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2,362百万円減少し、9,138百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,821百万円増加し、9,582百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ752百万円増加し、27,990百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日付「2019年9月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した通期（2018年10月1日～2019年9月30日）の連結業績予想につきましては、当第3四半期の経営成績等を踏まえ、現時点では修正を行わないことといたします。

なお、今後の情報収集により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,163	9,107
受取手形及び売掛金	5,859	6,001
商品及び製品	2,563	2,428
仕掛品	6,513	7,121
原材料及び貯蔵品	5,530	5,823
その他	1,739	1,438
貸倒引当金	△189	△89
流動資産合計	31,180	31,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,521	5,371
機械装置及び運搬具（純額）	4,222	4,346
土地	1,165	1,165
その他（純額）	881	1,014
有形固定資産合計	11,791	11,897
無形固定資産	125	123
投資その他の資産		
投資有価証券	236	185
その他	3,296	2,779
貸倒引当金	△130	△107
投資その他の資産合計	3,402	2,857
固定資産合計	15,318	14,879
資産合計	46,499	46,711

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	2,833
短期借入金	2,891	1,947
未払法人税等	782	144
前受金	2,248	2,273
賞与引当金	267	440
役員賞与引当金	15	36
その他	2,133	1,462
流動負債合計	11,500	9,138
固定負債		
長期借入金	6,592	8,423
役員退職慰労引当金	366	406
退職給付に係る負債	627	653
その他	174	99
固定負債合計	7,761	9,582
負債合計	19,262	18,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	22,093	23,293
自己株式	△202	△299
株主資本合計	28,947	30,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	20
為替換算調整勘定	△1,787	△2,096
その他の包括利益累計額合計	△1,716	△2,075
非支配株主持分	6	14
純資産合計	27,237	27,990
負債純資産合計	46,499	46,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,430	18,581
売上原価	10,705	10,404
売上総利益	9,724	8,177
販売費及び一般管理費	5,842	5,543
営業利益	3,881	2,633
営業外収益		
受取利息	110	112
受取配当金	18	6
受取手数料	125	137
その他	28	49
営業外収益合計	283	306
営業外費用		
支払利息	8	25
為替差損	142	119
遊休資産諸費用	—	79
その他	8	8
営業外費用合計	158	233
経常利益	4,006	2,707
特別利益		
固定資産売却益	2	11
投資有価証券売却益	1,189	—
補助金収入	—	116
特別利益合計	1,192	127
特別損失		
固定資産売却損	1	1
関係会社清算損	9	—
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	5,188	2,833
法人税、住民税及び事業税	1,668	583
法人税等調整額	△3	139
法人税等合計	1,664	722
四半期純利益	3,523	2,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,521	2,101

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,523	2,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△807	△50
為替換算調整勘定	△810	△309
その他の包括利益合計	△1,617	△359
四半期包括利益	1,906	1,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,904	1,742
非支配株主に係る四半期包括利益	1	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
セグメント利益	1,563	1,832	1,399	312	554	5,661

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,661
全社費用	△1,257
たな卸資産の調整額	△239
その他の調整額	△283
四半期連結損益計算書の営業利益	3,881

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	4,617	3,723	6,585	1,478	2,177	18,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,617	3,723	6,585	1,478	2,177	18,581
セグメント利益	1,330	1,149	1,039	363	641	4,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,525
全社費用	△1,309
たな卸資産の調整額	429
その他の調整額	△1,011
四半期連結損益計算書の営業利益	2,633

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注状況

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	12,070	6,444	10,314	6,322	85.5	98.1
金型	6,032	3,420	5,960	4,081	98.8	119.3
付属機器	1,511	694	1,371	864	90.7	124.5
部品その他	2,373	59	2,219	95	93.5	160.7
合計	21,988	10,618	19,865	11,364	90.3	107.0

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	10,906	53.4	9,548	51.4	87.6
金型	5,843	28.6	5,558	29.9	95.1
付属機器	1,278	6.3	1,244	6.7	97.3
部品その他	2,401	11.7	2,230	12.0	92.9
合計	20,430	100.0	18,581	100.0	91.0